

令和4年5月27日

保護者のみなさまへ

ゆたか幼稚園 園長 鈴木拓朗

マスク着用について

5月25日に文部科学省から「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」の通知がありました。

既に報道等でご存知かと思いますが、通知の中では、

- ・マスクの着用は引き続き基本的な感染対策であること
- ・身体的距離が確保できないが、会話をほとんど行わない場合のマスク着用の考え方を明確化すること
- ・就学前の児童(2歳以上)のマスクの着用はオミクロン株対策以前の取扱いに戻すこと

が示され、小学校～高校段階では、屋内外でのマスク着用の基準や、マスクの必要がない場面として「プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際」などが明記されました。

その中で就学前児について、2歳以上については「他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない」との記載があります。

当園においては、新型コロナウイルス発生当初から、基本的な感染対策の一環として、マスクについてできる範囲での着用をお願いしています。ただし、一律に着用を義務付けているわけではなく、子どもの年齢や発達、その時々体調やご家庭の意向を踏まえて、柔軟な対応を心がけています。

また、戸外遊びや運動遊びなど、屋外や屋内でも十分な間隔を取って活動することができる場合や、夏場、熱中症のリスクがある場面では、状況に応じてマスクを外して活動しています。

特に熱中症リスクの判断については、環境省の熱中症予防サイトなどを活用し、気温や暑さ指数等の数値とともに、その日の活動内容を踏まえ、少しでもリスクがある場合はマスクを外すよう指示をしています。

今回の通知を受けて、幼稚園におけるマスク着用のあり方について、園内でも再度検討を行い園医とも相談した結果、

- ・県内及び市内における現在の感染状況が高止まりしていること
- ・ワクチン接種については満5歳からとなっており、多くの在園児が対象年齢から外れていること
- ・幼児期において、身体的距離の確保や会話の制限が難しいこと
- ・マスク着用緩和について明確な根拠が示されていないこと

以上の理由により、当園では今後もこれまで通りの対応を継続していきたいと思っております。

ただし、一律に着用を義務付けるわけではありませぬので、マスク着用の有無については今まで通りご家庭の判断を尊重します。

また、今後の感染状況等に応じて、当園における対応も随時検討を重ね変更する場合がありますのでご理解ください。

今回の園の対応について、ご意見・要望等がある場合は、お手数ですが直接幼稚園までご連絡ください。